

行政サービス等の「値札」表示についてのアンケート結果

<アンケート結果の概要>

調査時期： 平成22年2月

対象者： 県政モニター195人

回答数： 137人(70.2%)

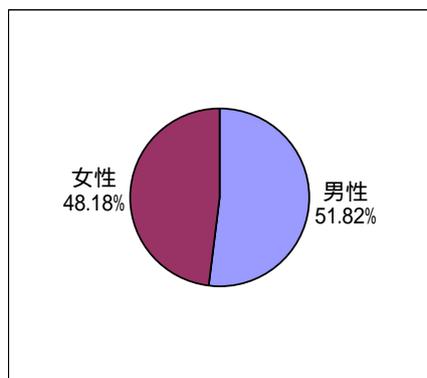
担当課： 総務部経営企画室

調査目的： 県では、対話と共感による県政を進めていくため、県の財源がどのように使われているのか、県民の皆さんに十分ご理解いただけるよう、県の行政サービスや事務・事業等の内容は経費（コスト）などの情報をわかりやすい形でお示しする「値札」表示に取り組んでいます。

平成21年度は、県民の皆さんに関わるサービス等の中から111件について「値札」を表示しました。

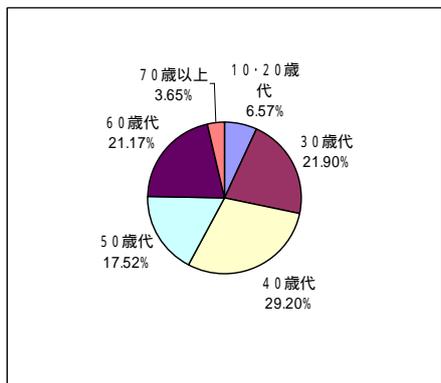
今後も、県政をよりわかりやすくお示しできるような取組を進めていくため、平成21年度の「値札」表示に対するご意見を幅広くいただくことを目的としてアンケート調査を実施しました。

問1 あなたの性別を選んでください。



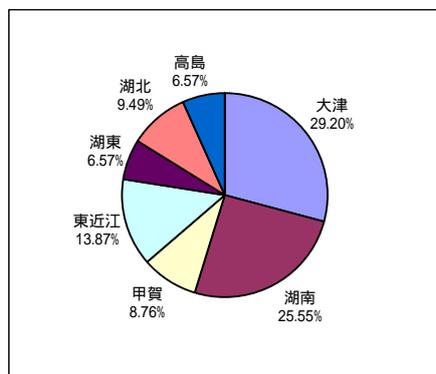
	人数	構成比	(合計)
1 男性	71	51.82%	(137)
2 女性	66	48.18%	

問2 あなたの年齢を選んでください。



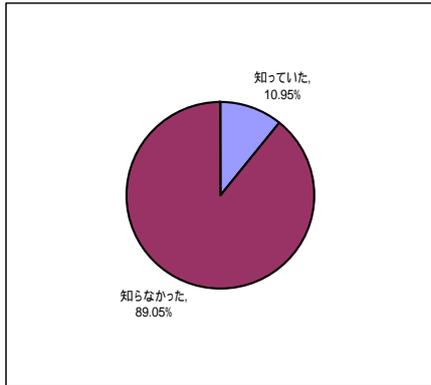
	人数	構成比	(合計)
1 10・20歳代	9	6.57%	(137)
2 30歳代	30	21.90%	
3 40歳代	40	29.20%	
4 50歳代	24	17.52%	
5 60歳代	29	21.17%	
6 70歳以上	5	3.65%	

問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。



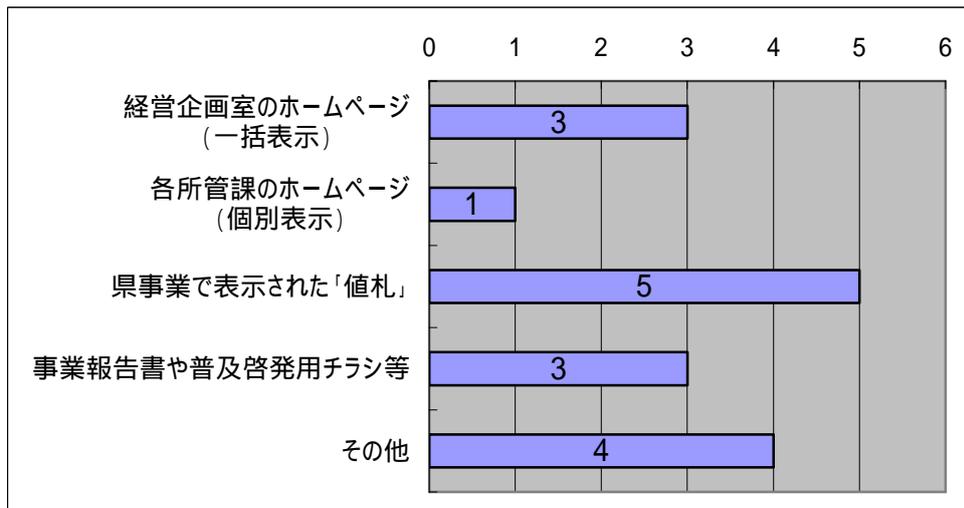
	人数	構成比	(合計)
1 大津	40	29.20%	(137)
2 湖南	35	25.55%	
3 甲賀	12	8.76%	
4 東近江	19	13.87%	
5 湖東	9	6.57%	
6 湖北	13	9.49%	
7 高島	9	6.57%	

問4 行政サービスの「値札」表示の取組をご存じでしたか。



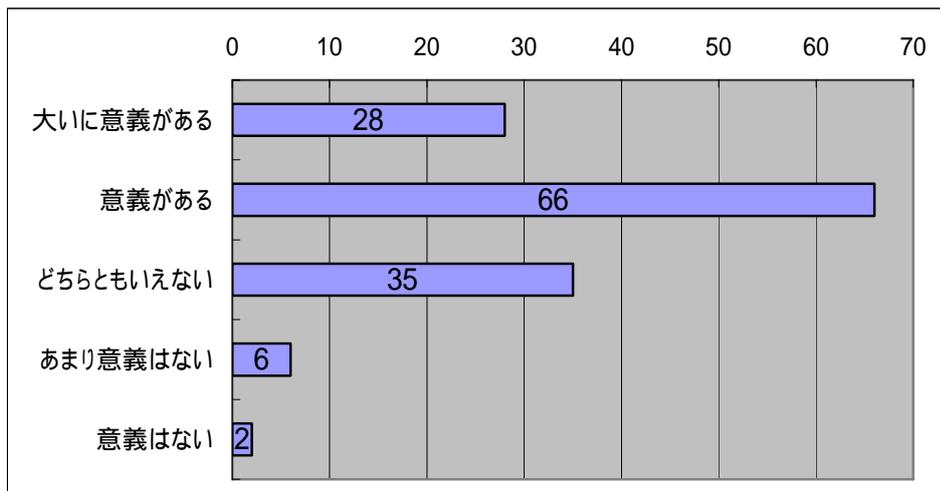
	人数	構成比	(合計)
1 知っていた	15	10.95%	(137)
2 知らなかった	122	89.05%	

問4 - 2 どのような方法で「値札」表示の取り組みをお知りになりましたか。(複数回答可)
(問4で「知っていた」と回答された方にお聞きした設問です。)



	人数	構成比	(合計)
経営企画室のホームページ (一括表示)	3	18.75%	(16)
各所管課のホームページ (個別表示)	1	6.25%	
県事業で表示された「値札」	5	31.25%	
事業報告書や普及啓発用チラシ等	3	18.75%	
その他	4	25.00%	

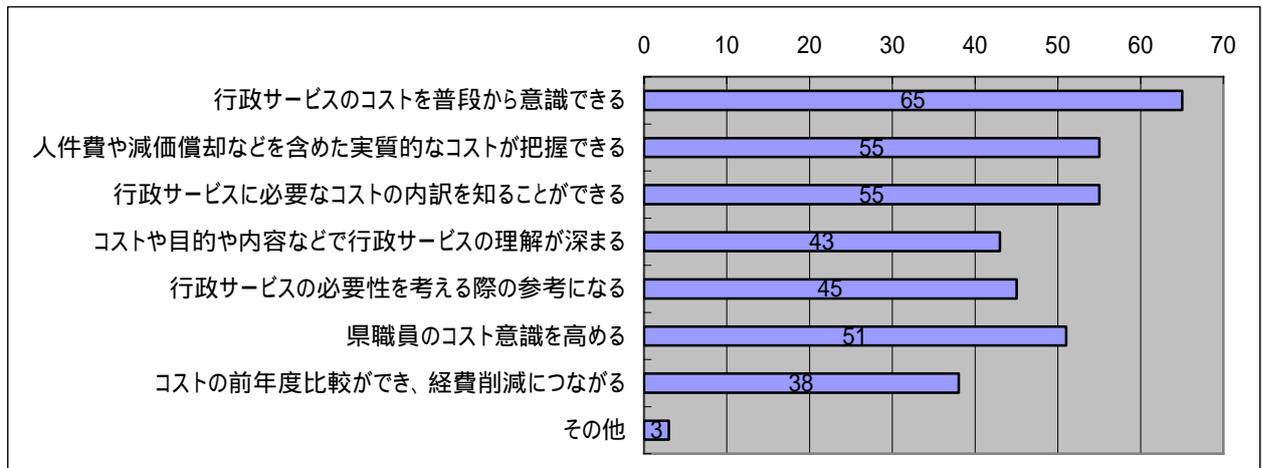
問5 行政サービスの「値札」表示の取組について意義があると思われませんか。



	人数	構成比	(合計)
1 大いに意義がある	28	20.44%	(137)
2 意義がある	66	48.18%	
3 どちらともいえない	35	25.55%	
4 あまり意義はない	6	4.38%	
5 意義はない	2	1.46%	

問5 - 2 意義があると思われる理由は何ですか。(複数回答可)

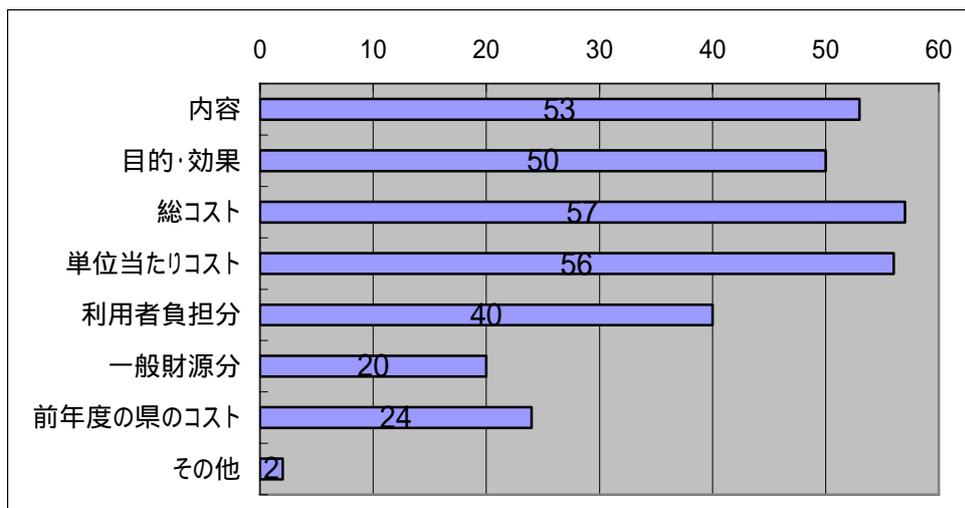
(問5で「大いに意義がある」、「意義がある」と回答された方にお聞きした設問です。)



	人数	構成比	(合計)
1 行政サービスのコストを普段から意識できる	65	18.31%	(355)
2 人件費や減価償却などを含めた実質的なコストが把握できる	55	15.49%	
3 行政サービスに必要なコストの内訳を知ることができる	55	15.49%	
4 コストや目的や内容などで行政サービスの理解が深まる	43	12.11%	
5 行政サービスの必要性を考える際の参考になる	45	12.68%	
6 県職員のコスト意識を高める	51	14.37%	
7 コストの前年度比較ができ、経費削減につながる	38	10.70%	
8 その他	3	0.85%	

問5 - 3 行政サービスを知る上で、参考になった表示項目はどれですか。(複数回答可)

(問5で「大いに意義がある」、「意義がある」と回答された方にお聞きした設問です。)



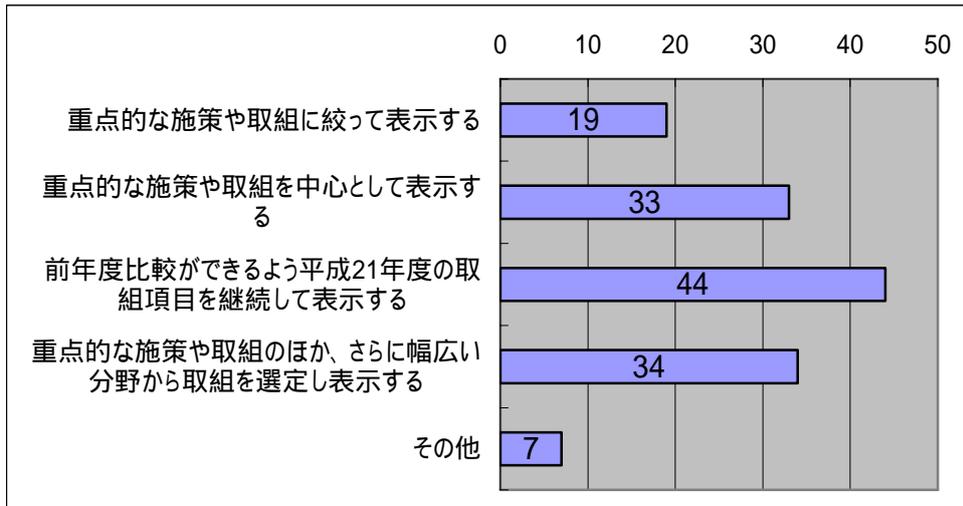
	人数	構成比	(合計)
1 内容	53	17.55%	(302)
2 目的・効果	50	16.56%	
3 総コスト	57	18.87%	
4 単位当たりコスト	56	18.54%	
5 利用者負担分	40	13.25%	
6 一般財源分	20	6.62%	
7 前年度の県のコスト	24	7.95%	
8 その他	2	0.66%	

問5 - 4 意義はないと思われる理由は何ですか。

(問5で「あまり意義はない」、「意義はない」と回答された方にお聞きした設問です。)

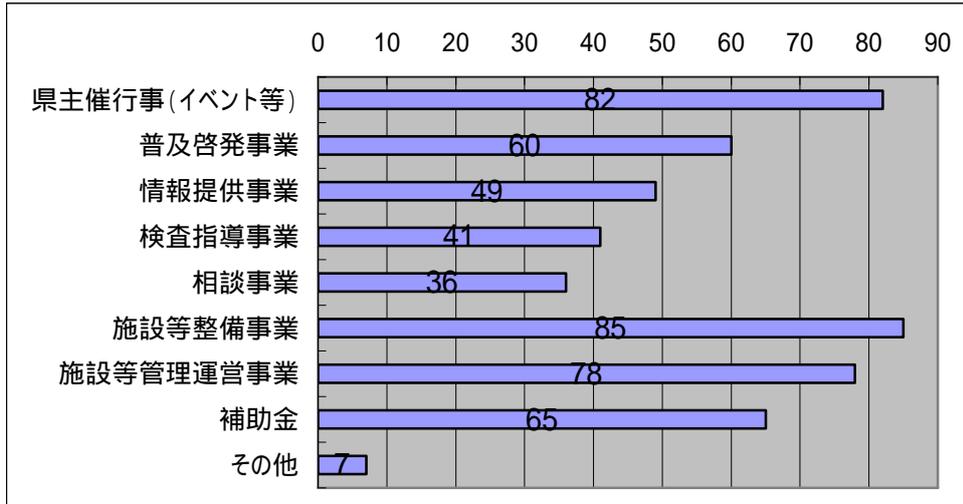
- ・「値札」取組について県民に周知されておらず、取組を知らない県民が多い。
- ・行政サービスは営利行為と異なり、一件当たりの単価を出して効果を問うものではない。
- ・経費削減・節約は県民に対する義務であり、「値札」自体に意義を感じない。
- ・目的が達成できない場合の責任者が明確でない。
- ・他府県との比較がない単なる数字の羅列である。数字を出したことで、何かをしたような気分になっているだけ。費用対効果、適正な価格か、無駄はないか、合見積もりをしているか、を検証してください。

問6 今後どのように対象事業を選定することが適切と考えますか。



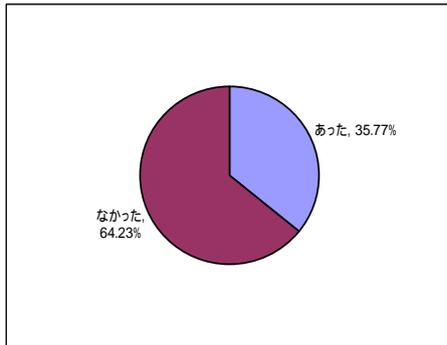
	人数	構成比	(合計)
1 重点的な施策や取組に絞って表示する	19	13.87%	(137)
2 重点的な施策や取組を中心として表示する	33	24.09%	
3 前年度比較ができるよう平成21年度を取組項目を継続して表示する	44	32.12%	
4 重点的な施策や取組のほか、さらに幅広い分野から取組を選定し表示する	34	24.82%	
5 その他	7	5.11%	

問7 どの事業(種類)の「値札」表示を知りたいと思われませんか。(複数回答可)



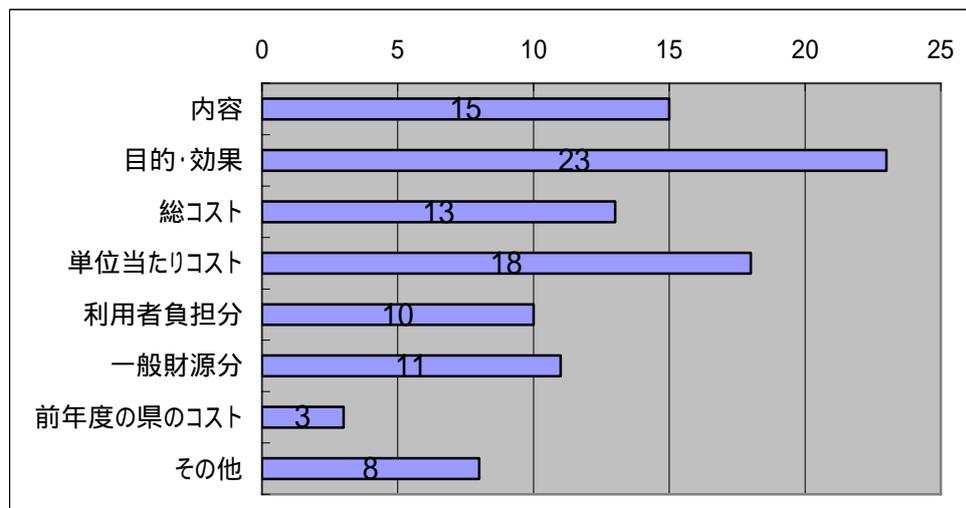
	人数	構成比	(合計)
1 県主催行事(イベント等)	82	16.30%	(503)
2 普及啓発事業	60	11.93%	
3 情報提供事業	49	9.74%	
4 検査指導事業	41	8.15%	
5 相談事業	36	7.16%	
6 施設等整備事業	85	16.90%	
7 施設等管理運営事業	78	15.51%	
8 補助金	65	12.92%	
9 その他	7	1.39%	

問8 「値札」表示の中でわかりにくい項目はありましたか。



	人数	構成比	(合計)
1 あった	49	35.77%	(137)
2 なかった	88	64.23%	

問8 - 2 どの項目がわかりにくかったですか。(複数回答可)
(問8で「あった」と回答された方にお聞きした設問です。)



	人数	構成比	(合計)
1 内容	15	14.85%	(101)
2 目的・効果	23	22.77%	
3 総コスト	13	12.87%	
4 単位当たりコスト	18	17.82%	
5 利用者負担分	10	9.90%	
6 一般財源分	11	10.89%	
7 前年度の県のコスト	3	2.97%	
8 その他	8	7.92%	

問8 - 3 どうすればわかりやすい「値札」表示になるとお考えですか。

(問8で「あった」と回答された方にお聞きした設問です。)

- ・サービスの内容が地域住民にとってかけ離れたものばかりである。
- ・事業仕分けを先行すべき。
- ・「値札」の名称はわかりにくく、もっと県民に馴染みのある名称にすべき。
- ・担当部署だけでなく責任部署(人)を明確にする。
- ・関連文書も合わせて提示してほしい。
- ・人件費や共通事務費の内訳も知りたい。
- ・収入がある場合はそれも明記する。
- ・値札算定の根拠,あるいは入札の場合ならその全体像まで示す。
- ・金額の算出計算式を添付して欲しい。
- ・数字の根拠がわかりません。
- ・人件費について単価×時間の関係をわかりやすく表示し、前年度と比較しやすくする。
- ・ここ数年の比較および各県との比較ができるようにする。
- ・想定される受益者1人あたりのコストを表示してほしい。
- ・月額、一人当たりのコスト、県民負担分、行政負担分を追加で明記してほしい。
- ・「単位」に(例:受益の人数・製品単価)と()書きをつける。
- ・事業の必要性をわかりやすく記載してほしい。
- ・円グラフを使って、一般財源分、利用者負担分、その他のコストの明細を記載する。
- ・具体的な数値よりもグラフや%などで示したほうがわかりやすい。
- ・総コストの内訳コストおよび単位コストの負担・一般財源を%で表示する。
- ・効果については、結果として効果があったのか無かったのかを判断して欲しい。
- ・もっと細かいところまで表示すべき。
- ・個表も値札表示一覧表と同じような書式で、簡潔に表示する。
- ・表をもう少し簡単な書式にする。
- ・PDFファイル以外の形式で表示すること。

問9 その他意見等

- ・コストを知ることが大事と思うので改善しつつ継続してほしい。
- ・事業に必要なコストなどを県民も意識するようになるから、今後も継続を望む。
- ・よりよい社会を目指して、このような取り組みをすることは必要だと思う。
- ・広報誌などに1部いくらと書いてあるのを見て、県政が自分に近く感じられた。
- ・「値札」表示により、コストに関して理解できるし、コストに対する意識も変わると思う。
- ・今回の「値札」表示を知りませんでした。たいへん勉強になりました。
- ・官公庁には原価意識や収益観念が乏しいと思っていたので、大変良い取組だと思った。
- ・「値札」表示で、どんな行政サービスがあるのかを知ることができた。
- ・それぞれの項目が詳細にわかりとても良かった。
- ・一人当たりの支出（負担）という点からの取組は意義があると思う。
- ・値段だけでは比較できない部分もあるが、内容に対する値段を考えることができる。
- ・県民に進んで情報提供することには大賛成である。
- ・「値札」表示は、事業を継続していくかを判断する1つの基準になると思う。
- ・もっと、財政に注目していこうと思った。
- ・行政の「見える化」で県民や県職員にコスト意識が浸透し、事業の必要性や効率化を意識することができる。
- ・この取組が、県財政を見直す材料になれば意義があると思う。
- ・「値札」表示は職員の行政経費のコスト意識の向上や経費削減につながるし、県民が行政サービスのコストを知ることが、その施策、事業、制度、サービスの中身を知るうえで重要。
- ・「値札」表示により、コスト意識が明確になり、事業の優先順位が正確に討議されて成果が明白になる。
- ・一般財源分と利用者負担分の表示で、どのような事業に税金が使われているかを理解できた。
- ・非常にわかりやすい一覧でした。

- ・「値札」を認知してもらえるように、まずは宣伝を活発に行ったほうがいい。
- ・「値札」表示は誰でも見られるということを県民にもっと知らせるべき。
- ・大変意義のある取組だと思うので、広く県民に周知することが必要である。
- ・「値札」表示の取組について、情報発信、広報啓発がやはり少ないように思う。
- ・「値札」の名称は、わかりやすい言葉を使うという努力を感じたが、やや違和感がある。
- ・「値札」の名称を見直した方がいい。例えば、事業カード
- ・総コスト等が前年度より増加した場合はその理由を記載する。
- ・金額が小額の事業は「値札」対象外とする。
- ・事業の有効性の評価を追加する。
- ・事業費が大きいものの、「値札」表示をしていない業務を一覧表にまとめ公表する。
- ・同じ項目の「値札」表示を継続し、毎年異なった項目の「値札」表示も加えるといい。

- ・余りくどくどと書かずに、あくまでも箇条書きがよい。
 - ・県民生活と関係の深い部分は、重点施策として「値札」表示の対象にすべきと思う。
 - ・どこに無駄があるのか判断できません。経費削減のため改善した点などを表記してほしい。
 - ・削減できそうな事業がありそうなので、「値札」表示を継続し経費削減につなげてほしい。
 - ・目的意識、コスト意識を再確認するために役立つと思うが、もっとわかりやすくしてほしい。
 - ・簡潔に簡単な表現を使って表示してもらいたい。
 - ・県負担分が県予算に占める割合の表示がよりわかりやすいと思う。
 - ・例えば、滋賀県立大学への運営費交付金が26億円、学生1人当たりの支援は約100万円であることに對して、大学の教職員や学生はその重みを感じているのかということが県民に伝わってくる仕組みをつくってほしい。
 - ・今後は県の重点事業だけでなく各種の分野にも拡大してほしい。
 - ・市町の行政コストの理解のために、県が「値札」表示のノウハウを市町に伝授してほしい。
 - ・前年度よりコストパフォーマンスの悪いものについてはより詳細に説明してほしい。
 - ・予算作成時と年度末実績時との比較を徹底し、次年度に活かせるような工夫がいる。
 - ・行政のコスト対策は不透明で一般住民にわかりにくいという印象があったが、前年度比較によりコスト対策が透明感あるものになればいいと思う。
 - ・前年度の計画に対する実施状況(達成率)など総括を参考欄に記載してほしい。
 - ・目的・効果欄に中・長期的な展望を明示する。将来的な方向性。将来にどうするのかなど
 - ・職員一人当たりの人件費を表示すると県民にわかりやすいと思う。
-
- ・非常に良いことだと思うが、これに沢山のお金がかかっていないことを祈る。
 - ・行政サービスの効果は評価しにくい。利用者の声やアンケート結果等に基づき詳細な分析を希望するが、それ自体に大きなコストがかかるのなら、気を引き締めて取り組んでください。
 - ・一般市民が「値札」を評価するのは難しく、「値札」自体に意味はないと思うが、「事業にかかっている経費の重みを感じて利用してください」というメッセージの発信に役立つと思う。
 - ・「値札」表示の「値札」が高く、費用対効果を踏まえて実施方法を考える必要がある。
 - ・行政分野には、そもそも「値札」表示は馴染まないように思う。
 - ・この取り組み自体が、労多くして益が少ないように思う。
 - ・「値札」を作成するために多くの費用(人件費)や負担をかけることには疑問を感じる。
 - ・行政サービスに「値札」という発想が理解できない。コストが高いからこのサービスは止めるというふうになるのでしょうか。事業そのものを見直して、不必要な事業を止め支出を抑制するという発想はないのでしょうか。
 - ・「値札」表示には意義があると思うが、その作業に時間がかかり、職員の負担が増すようではもったいない。簡単に表示できるように作業工程の見直しがあったらいいと思う。
 - ・民間事業との比較により、事業を見直していかない限り時間が無駄である。「値札」の開示自体に意味は無く、それを今後どう生かしていくかに意味があると思う。

- ・ 値札を見た人が納得できない場合は、どう反映していくのかと気になる。
- ・ 行政サービスにはコストだけで善し悪しを測れないものも多いと思う。
- ・ 相談業務や指導業務には「値札」表示は馴染まないと思うので、対象事業を厳選すべき。
- ・ 県予算の透明性に向け、民間人を中心とした監査委員的なものを知事直轄に設け、県政（県財政）の方向性に助言してもらうということも考えてみてはどうでしょうか。
- ・ 表現が難しい。
- ・ 担当部署が「値札」を作成したのち、監査する部署が必要だと思う。監査の専門部署を作るのではなく同一課の別グループ等同様の技術・技能レベルの職員が監査するのが最善だ。
- ・ 細かく外部からチェックするしくみが必要である。今まで通りにやることだけが正しいという考えにより、公務員には予算がカットされるかもしれないという危機感を持つ必要が少ないことから、新しい目で見える必要を感じる。
- ・ 第三者機関で「値札」の内容を精査し、コストを下げることを義務化する。
- ・ 意図するところがよくわからない。
- ・ 表の外枠の太線は見苦しいし、トナーなどのコストも多くかかる。
- ・ 費用対効果を十分踏まえて、取組を振り返る必要がある。